

8 現地検討会

1. 日時：平成25年9月9日
2. 市場関係者や関係機関、報道関係者約40名が現地に集まり、栽培状況等を視察後、率直な意見交換を行いました。



1 1

9 品質評価（求評）

1. 日時：平成25年9月13日、10月1日
2. (株)東日本板橋花きを訪問し、事前に送っていたトルコギキョウの評価をいただきました。
 - ・「花色、草丈、草姿、花持ちはかなり良く、現在、市場流通している他産地と比べても差は無い」と評価されました。



1 2

10 平成26年の本格栽培に向けて

1. 土壌の塩基類濃度が基準値超過
毛細管現象の影響による集積か？
2. 土壌分析に基づく、
土壌改良や施肥設計が必要となりました。
3. 栽培では、関係者からの意見等を考慮し、
①定植本数を120本⇒90本／坪に削減
②規格の見直し等を行いました。

13

11 営農再開までにもうひと山

1. 実証栽培を終えて、全員が平成26年の再開の準備を進めていました。
2. その矢先の2月に大雪
によるハウスが倒壊などの
被害を受け、関東を中心に
広範囲で被害が発生。
3. それでも「ひとりも欠け
たくない」思いが、営農再開につながりました。



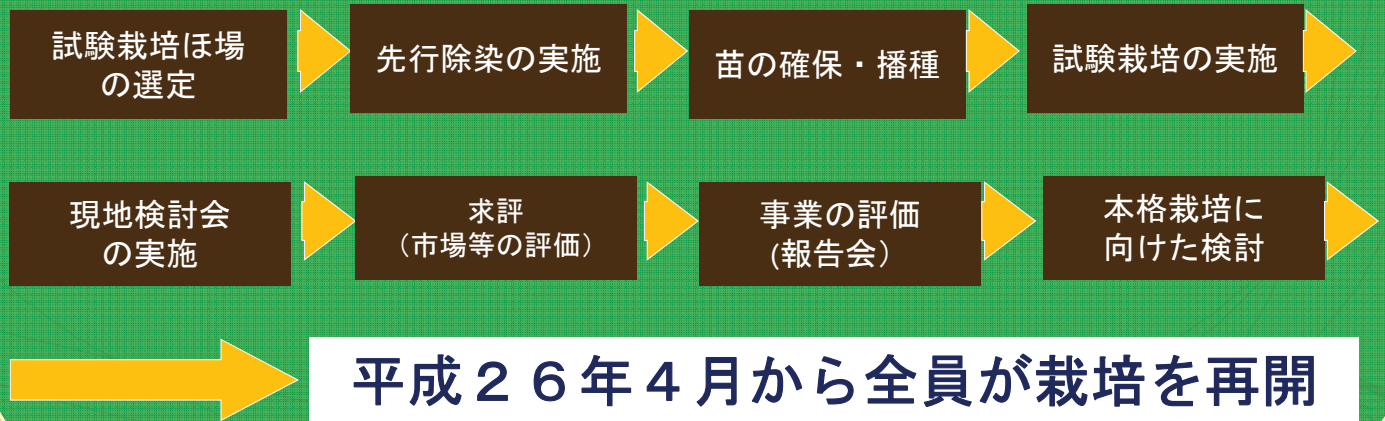
雪で倒壊したハウス

14

1 2 ついに営農再開

1. 再開規模の違いはあっても、全員が4月から、本格的な栽培を開始することができました。

<<生産再開へのみち>>



1 5

1 3 出荷まえ

1. 平成26年産苗の定植後の生育は、目立った気象被害も少なく、比較的順調でしたが出荷の時期が近づいてくると、

2. ホントに

「ちゃんと売れるか？」といった不安が頭をよぎることもありました。



順次、は種・定植を開始



生育はおおむね順調に

1 6

14 念願の出荷ができませんでした

1. 8月3日に川俣町農業復興祭を開いていただきました。7月末から少しずつ出荷していましたが、実質的な初日です。

2. グループの菅野代表から荷を手交するセレモニーや市場に向かうトラックを祝うテープカットも行なわれました。



荷を手渡ししました



市場へ向かうテープカット

17

15 西川大臣に来ていただきました

1. 就任したばかりの西川農林水産大臣が山木屋のハウスまで視察に来ていただきました。

2. また、「何か困っていることはありませんか」とのお気遣いもいただきましたので、「避難区域の早期解除をして欲しい」と話させていただきました。



説明に耳を傾けるみなさん



グループのみんなと記念撮影

18

16 平成26年産はどうだったのか

1. 植栽密度を震災前の3/4に変更したため、収穫本数は減りましたが、①出荷率の向上、②規格内収率の向上等に努めました。

2. その結果として、品質を評価されて、単価が良かったこともあって、目標の売上をおおむね達成することができました。



1. 栽培面積は1.6ha（震災前の50%）

2. 出荷量は、約35万本

3. 出荷額は、約70百万円

4. 約200円（震災前を上回る）



ブランド産地の
評価を維持

19

17 新たな仲間か、ライバルか？

1. 農林水産省がいわき市の研究実証施設で栽培したトルコギキョウを市場で見ました。

2. 苗テラス＋複合環境制御＝「周年出荷」が現実した栽培だそうです。

3. 花の品質は高く、良きライバルとして、更なる技術向上に努めなければと思いました。



効率的な苗の生産（苗テラス）



11月から出荷を開始

20

A photograph of a vast field of carnations in a greenhouse. The flowers are primarily pink and white, with many green buds visible. The background shows the structure of the greenhouse and some people walking in the distance.

ご静聴ありがとうございました

あぶくまカットフラワーグループ
三浦 斎

memo

(参考1) 補助事業と実証栽培のあらまし

事業の実施内容

1. 生育調査
2. 切り花品質調査
3. 切り花の日持ち調査
4. 現地検討会の実施
5. 市場等花き関係者による品質評価(求評)
6. 作業者の被曝線量
7. 土壌、水、生産物の放射性物質検査



品 種 名	花持ち日数
藤ほのか(F10-937)	11日間
紫ほのか(F10-945)	12日間
K307	15日間
K334	14日間
K336	13日間
K345	13日間
M13-13	16日間
マリアホワイト	14日間
ピコ3白-サニウスノー	16日間
パレオジャンパン(TU-671)	12日間
パレオエレガンス	13日間
パピナスホワイト	14日間

実証栽培の概要

1. 栽培規模: パイプハウス約2.7a
2. は 種: 平成25年4月5日
3. 栽植密度: ベッド幅110cm
株間12cm、条間12cm
4. 定 植: 平成25年6月2日
5. 定植株数: 約7,320本/棟
6. 投入資材(1棟当たり)
○ ココピート 700kg
○ 粒状活性炭 100kg など



(参考2) 営農再開に向け活用した事業

営農再開に向けた作付実証(花き)

平成25年4月5日 園芸課

避難指示解除準備区域等において、花きの営農再開に向け、収量・品質を確保するための栽培管理等の手法を作付実証するための経費を支援する。【事業実施主体: 市町村、農業協同組合、農業者の組織する団体等】

試作環境の整備

- 栽培ほ場の改良
土壌分析
放射性物質吸収抑制資材
土壌改良資材
堆肥の投入等

- 栽培環境の整備
ポケット線量計、ほ場看板等

- 放射性物質の影響評価
栽培ほ場の土壌、用水等の放射性物質の測定等

試作栽培

花き栽培農家へ委託



- 作付実証に係る経費補助
記帳手当、通勤手当等も対象。

試作結果の検討

- 生産物の評価
栽培した花きの収量、品質等の評価

- 検討会の開催
実証の結果及び今後の生産・販売に関する検討